授　業　概　要

クラス：　ITビジネス科2年

科　目　名		授業の種類	授業担当者
パソコン実習Ⅸ(実務演習)		専門・実習	川野　悟史
週　数	授業コマ数（週あたり）	授業時間数	学 年 ・ 時 期
13	1～2	20	2年・後期

授業の目的・概要	1年次に学習したExcelを復習、実践力を身に付ける。 問題集で企業で一般的に使われるであろう素材を使用し、実力を養う。		
実務経験			
達成課題・到達目標	職場で即戦力となりえるように、正確性とスピードを重視する。 書式を整えるなどビジネス文書らしい文書作成方法の習得。 グラフや表など視覚効果の高いツールの効果的な使用方法の習得。		
定期試験	実施の有無	実施概要	
	課題提出	毎週課題を与え、提出	
検定試験	実施日	目標合格率	昨年度合格率
	無		
評価方法・基準	提出物評価30％ 課題提出率10％ 授業態度40％ 出席率20％		

使用教科書	サーティファイ問題集1級・2級（Excel）
参考図書	

授業計画表

月	週	単　元	学習内容
9	1	Excel基礎固め	サーティファイ問題集2級を使用
	2		
	3		
10	4	Excel応用	サーティファイ問題集1級を使用
	5		
	6		
	7	実践的なビジネス文書の作成	ビジネス活用ドリル、オリジナル演習プリントを使用
11	8		
	9		
	10		
	11		
12	12		
	13		

授 業 概 要

クラス:　　ITビジネス科2年

科 目 名		授業の種類	授業担当者
パソコン実Ⅵ		一般・講義及び演習	川野　悟史
週 数	授業コマ数(週あたり)	授業時間数	学 年 ・ 時 期
14	8～10	130	2年・後期

授業の目的・概要	・HTMLの基礎知識を理解する ・CSSを理解する ・初歩的なWebページの作成実習 ・Webクリエイター認定試験全員合格を目指す		
実務経験			
達成課題・到達目標	・HTMLの基礎を理解しWebページの設計をし、簡単なCSSを使ったWebページ管理ができるようになる。 ・12月のWebクリエーター能力認定試験エキスパート級全員合格		
定期試験	実施の有無	実施概要	
	課題提出	与えられたデータからWebページを作成する。	
検定試験	実施日	目標合格率	昨年度合格率
	2025/12/12	100%	100%
評価方法・基準	課題提出　20% 出席率　30% 授業態度　30% 模擬テスト　20% ※出席率70%なければ不可		

使用教科書	Webクリエイター能力認定試験　スタンダード　公式テキスト＆問題集 Webクリエイター能力認定試験　エキスパート　公式テキスト＆問題集
参考図書	HTML5＆CSS3ワークブック HTML＆CSSクイックマスター オリジナルプリント

授業計画表

<table>
<tr><th>月</th><th>週</th><th>単　元</th><th>学習内容</th></tr>
<tr><td rowspan="4">9</td><td>1</td><td rowspan="3">Webクリエイター認定試験スタンダード級（HTML5）公式テキスト</td><td rowspan="3">Webサイト・制作の基礎知識
HTMLの基礎
CSSの基礎
各ページの作成
各ページ共通HTML・CSSの作成
画像の挿入・設定
テーブル作成（HTML・CSS）
フォーム作成（HTML・CSS）</td></tr>
<tr><td>2</td></tr>
<tr><td>3</td></tr>
<tr><td>4</td><td>Webクリエイター認定試験スタンダード級（HTML5）問題集</td><td>サンプル問題
模擬問題1～3
確認テスト</td></tr>
<tr><td rowspan="4">10</td><td>5</td><td rowspan="4">Webクリエイター認定試験エキスパート級（HTML5）公式テキスト</td><td rowspan="4">HTMLの基礎と応用
CSSの基礎と応用
Webサイト作成
各ページ共通HTML・CSS　スマートフォンサイズの設定
スライドショー・画像の設定
テーブル　フォーム作成（HTML・CSS）
デザインの基礎知識　レイアウト
配色・画像加工
サンプル問題</td></tr>
<tr><td>6</td></tr>
<tr><td>7</td></tr>
<tr><td>8</td></tr>
<tr><td rowspan="4">11</td><td>9</td><td rowspan="5">Webクリエイター認定試験エキスパート級（HTML5）問題集</td><td>引き続きサンプル問題</td></tr>
<tr><td>10</td><td rowspan="2">模擬問題1～3実際の試験形式で実施・解説</td></tr>
<tr><td>11</td></tr>
<tr><td>12</td><td rowspan="2">過去問A～Dを試験形式で実施</td></tr>
<tr><td rowspan="2">12</td><td>13</td></tr>
<tr><td>14</td><td>Webクリエイター認定試験実施</td><td></td></tr>
</table>

授 業 概 要

クラス:　ITビジネス科2年

科 目 名		授業の種類	授業担当者
パソコン実習Ⅶ(デザイン)		専門・実習	足達 祐美
週 数	授業コマ数(週あたり)	授業時間数	学 年 ・ 時 期
12	1～2	20	2年・後期

授業の目的・概要	①情報デザインにおけるスキル習得 ②プログラミング言語習得 ③イラストデザイン技術		
実務経験			
達成課題・到達目標	①情報デザインにおけるスキル習得 ②プログラミング言語(Python・Java・JavaScript言語の基礎力向上) ③イラストデザイン技術		
定期試験	実施の有無	実施概要	
	実施する	課題提出及びプログラミング言語検定実施	
検定試験	実施日	目標合格率	昨年度合格率
評価方法・基準	①成果物の評価　50% ②授業態度　　10% ③出席率　　20% ④検定レベルにより、評価20% ★課題提出できなければ不可、出席70%なければ不可		

使用教科書	tiacオリジナルプリント プログラミング検定　Webアプリを使用
参考図書	レイアウトテクニック 関数テクニック

授業計画表

<table>
<tr><th>月</th><th>週</th><th>単　元</th><th>学習内容</th></tr>
<tr><td rowspan="4">9月
10月
11月
12月</td><td>1
～
3</td><td rowspan="2">プログラミング言語習得</td><td rowspan="2">プログラミング検定のアプリを使い
各言語の基礎から習得
検定レベル1～6まで実施</td></tr>
<tr><td>4
～
8</td></tr>
<tr><td>9
～
12</td><td rowspan="2">レイアウトデザイン</td><td>①デザインの基礎
②イラストを作った紙面づくり
③写真を使った紙面づくり
④写真にくりぬき効果を付けた紙面づくり
⑤グラデーション効果を付けた紙面づくり
⑥段組みを使った紙面づくり</td></tr>
<tr><td></td><td>ロゴの作成、イベントチラシ作成、商品説明チラシ作成</td></tr>
</table>

授 業 概 要

クラス:　　ITビジネス科2年

科　目　名		授業の種類	授業担当者
パソコン実習　Ⅷ(ムービー)		専門・実習	松本　健
週　数	授業コマ数(週あたり)	授業時間数	学 年 ・ 時 期
5	5～13	40	2年・後期

授業の目的・概要	動画編集ソフトを使用し、映像表現に必要なスキル能力を習得する。 表現できる基本的な技術を身につける。		
実務経験			
達成課題・到達目標	画像や動画を適切に加工し、動画を通して伝達するスキルを習得する。		
定期試験	実施の有無	実施概要	
	課題提出		
検定試験	実施日	目標合格率	昨年度合格率
評価方法・基準	①成果物評価　70% ②課題提出率　10% ③授業態度　　10% ④出席率　　10%		

使用教科書	
参考図書	

授業計画表

月	週	単　元	学習内容
12	1	動画編集　基本	簡単な動画編集に取り組む
	2	課題制作　1	卒業課題の作成
1	3	課題制作　2	制作した課題の発表・講評
	4	課題制作　3	課題テーマに基づいた動画制作
	5	課題の発表	制作した課題の発表・講評
課題提出			

授　業　概　要

クラス：　ITビジネス科2年

科　目　名		授業の種類	授業担当者
ビジネス実務Ⅱ		専門・講義及び演習	長﨑　由香
週　数	授業コマ数（週あたり）	授業時間数	学 年 ・ 時 期
25	1～2	30	2年・通年

授業の目的・概要	ビジネス能力の向上を目的として電話応対とビジネス文書の基本を学習する		
実務経験			
達成課題・到達目標	状況別の電話応対実施と基本的なビジネス文書の作成ができることを目指す。 また、日頃からあいさつ・報連相等が実践できることを目指す。		
定期試験	実施の有無	実施概要	
	実施する	6月・9月・11月	
検定試験	実施日	目標合格率	昨年度合格率
評価方法・基準	筆記テスト・実技テストの得点を基準に、授業態度や課題提出率などを加味する。 テスト60％　課題提出20％　出席状態10％　授業取り組み10％		

使用教科書	プリント対応
参考図書	ビジネスマナー＆コミュニケーション（One　Edition） 知っておきたいビジネスのマナー（ウイネット） 電話応対の基本がかんたんにわかる本（日本能率協会マネジメントセンター） ビジネス文書の基本がかんたんにわかる本（日本能率協会マネジメントセンター）

授業計画表

月	週	単　元	学習内容
4	1	動機づけ、電話応対の基本、注意点	良い企業イメージを作る電話応対
	2	電話のかけ方	
	3	〃	
5	4	電話の受け方	
	5	〃	
	6	取り次ぎ方	
	7	電話応対でよく使うフレーズ、伝言メモの作成	
6	8	クレーム電話への対応、携帯電話のマナー	お客様の心理を理解する、原因を把握する
	9	テスト対策	
	10	〃	
	11	テスト実施	実技テスト 2時間続けて実施予定
9	12	テスト対策	
	13	テスト実施	筆記テスト 課題提出締切日
	14	ビジネス文書 動機づけ、文書作成の心得	
	15	社内文書の基本とそのフォーマット	
10	16	社内文書の作成	
	17	手紙の基礎知識	頭語・結語・慣用語・受信者・書き言葉と間違いやすい用語
	18	社外文書の基本とそのフォーマット	
	19	社外文書の作成	
11	20	社外文書の作成	
	21	ビジネスEメール、封筒・はがきの書き方	
	22	テスト対策	
	23	テスト実施	筆記テスト
12	24	社交文書	課題提出締切日
1	25	お茶の入れ方	2・3時間目希望2時間続けて授業、2階学生ホールを使用

授 業 概 要

クラス:　ITビジネス科1年

科 目 名		授業の種類	授業担当者
商業簿記Ⅱ		専門・講義	松本 健
週 数	授業コマ数(週あたり)	授業時間数	学 年 ・ 時 期
11	8～10	120	2年・後期

授業の目的・概要	1. 企業における日常発生する取引を合理的・能率的に記帳する知識と技術を身につける。 2. 取引の仕訳から勘定の記入を経て決算に至るまでの簿記の基本的な仕組みについて理解を深める。		
実務経験	※実務経験のある教員等による授業科目 法人企業において経理業務の補助		
達成課題・到達目標	日商簿記検定　簿記検定3級　合格		
定期試験	実施の有無	実施概要	
	実施しない		
検定試験	実施日	目標合格率	昨年度合格率
	令和6年12月	100%	71%
評価方法・基準	① 課題提出　30% ② 授業態度　15% ③ 出席率　15% ④ 模擬試験　40%		

使用教科書	よくわかる簿記シリーズ　合格テキスト　日商簿記3級　商業簿記　Ver.12.0 よくわかる簿記シリーズ　合格トレーニング　日商簿記3級　商業簿記　Ver.12.0
参考図書	TAC　日商簿記　的中答練　3級 Net-School　日商簿記3級　完全予想模試 TAC　あてるTAC直前予想　3級

授業計画表

月	週	単　元	学習内容
9	1	簿記の基礎　復習①	財務諸表と簿記の5要素
			〃
			〃
	2	商品売買　復習②	商品売買取引
			〃
	3	現金等取引　復習③	現金 当座預金
			約束手形
		その他の取引　復習④	有形固定資産の取得・売却・賃借
			その他
	4	決算　復習⑤	決算整理事項・決算振替
			〃
			〃
10	5	答練①	模擬試験の実施
			〃
			〃
	6		〃
	7		〃
			〃
	8		〃
			〃
11	9	答練②	パソコンを使用し模擬試験を実施
			〃
	10		〃
		答練③ 本試験の実施	〃
	11		〃
			〃

授 業 概 要

クラス:　ITビジネス科2年

科 目 名		授業の種類	授業担当者
情報リテラシーⅠ		専門・実習	足達・松本
週 数	授業コマ数(週あたり)	授業時間数	学 年 ・ 時 期
11	12～18	170	2年・前期

授業の目的・概要	ITパスポート試験に出題される、ストラテジ分野の理解。 ITパスポート試験に出題される、マネジメント分野の理解。 ITパスポート試験に出題される、テクノロジー分野の理解。 ITパスポート試験に合格するための知識を習得		
実務経験			
達成課題・到達目標	ITパスポート試験の合格 コンピュータ技術要素について、仕事に応用できる		
定期試験	実施の有無	実施概要	
	実施する	過去問題を中心とした模擬試験を行う。	
検定試験	実施日	目標合格率	昨年度合格率
評価方法・基準	① 課題提出　30% ② 授業態度　20% ③ 出席率　20% ④ 試験結果　30%		

使用教科書	FOM 「よくわかるマスター ITパスポート試験」 ノート＆練習問題プリント
参考図書	

授業計画表

月	週	単　元		学習内容
4	1	ストラテジ	第1章　企業と法務	1-1　企業活動 1-2　法務
		マネジメント	第4章　開発技術	4-1　システム開発技術 4-2　ソフトウェア開発管理技術
	2	テクノロジー	第7章　基礎理論	7-1　基礎理論 7-2　アルゴリズムとプログラミング
	3	ストラテジ	第2章　経営戦略	2-1　経営戦略マネジメント 2-2　技術戦略マネジメント 2-3　ビジネスインダストリ
5	4	マネジメント	第5章　プロジェクトマネジメント	5-1　プロジェクトマネジメント①
	5	テクノロジー	第8章　コンピュータシステム	8-1　コンピュータ構成要素 8-2　システム構成要素 8-3　ソフトウェア 8-4　ハードウェア
	6	マネジメント	第5章　プロジェクトマネジメント	5-1　プロジェクトマネジメント②
		ストラテジ	第3章　システム戦略	3-1　システム戦略
	7	テクノロジー	第9章　技術予想	9-1　ヒューマンインターフェース 9-2　マルチメディア
6	8	テクノロジー	第9章　技術予想	9-3　データベース 9-4　ネットワーク 9-5　セキュリティ
		ストラテジ	第3章　システム戦略	3-2　システム企画
	9	マネジメント	第6章　サービスマネジメント	6-1　サービスマネジメント
		マネジメント	第6章　サービスマネジメント	6-2　システム監査
	10	テクノロジー	第10章　表計算	10-1　表計算ソフト
		テクノロジー	第10章　表計算	10-2　式
	11	テクノロジー	第10章　表計算	10-3　関数の利用

授 業 概 要

クラス:　ITビジネス科2年

科 目 名		授業の種類	授業担当者
情報リテラシーⅡ(国試)		専門・講義	松本 健
週 数	授業コマ数(週あたり)	授業時間数	学 年 ・ 時 期
4	15	60	2年・前期

授業の目的・概要	基礎的なコンピュータ関連知識を習得し、国家資格である 「ITパスポート試験」を取得する学習		
実務経験			
達成課題・到達目標	ITパスポート試験の合格		
定期試験	実施の有無	実施概要	
	実施する		
検定試験	実施日	目標合格率	昨年度合格率
評価方法・基準	定期試験 25% 検定結果 25% 出席率&授業態度 25% 課題提出 25%		

使用教科書	① ITパスポート試験 令和元年～令和6年 ② TAC ITパスポート試験 模擬試験
参考図書	

授業計画表

月	週	単　元	学習内容
6月	1	過去問題・模擬試験の実施	令和元年秋期　過去問題
			令和2年秋期　過去問題
			令和3年春期　過去問題
			令和4年春期　過去問題
7月	2		令和5年春期　過去問題
			令和6年春期　過去問題
			令和4年度　TAC　模擬試験
			令和5年度　TAC　模擬試験
	3		令和6年度　TAC　模擬試験
			令和7年度　TAC　模擬試験
		パソコンでの模擬試験実施	令和2年秋期　過去問題
			令和3年春期　過去問題
	4		令和4年春期　過去問題
			令和5年春期　過去問題
			令和6年春期　過去問題
7月中旬		ITパスポート試験　受験	

授 業 概 要

クラス：　ITビジネス科2年

科 目 名		授業の種類	授業担当者
情報リテラシーⅠ(テクノロジ系) 情報リテラシーⅢ(J検)		専門・実習	足達　祐美
週　数	授業コマ数(週あたり)	授業時間数	学年・時期
12	4～5	50	2年・前期

授業の目的・概要	①ITパスポート試験に出題されるテクノロジー分野の理解 ②コンピュータ・システムや技術要素を理解し、仕事に応用できる		
実務経験			
達成課題・達成目標	①ITパスポート試験合格 ②情報活用検定 2級&1級合格 ③コンピュータ技術要素について、仕事に応用できる		
定期試験	実施の有無	実施概要	
	実施する	ITパスポート試験に出る問題を使った ペーパーテストを実施	
検定試験	実施日	目標合格率	昨年度合格率
評価方法・基準	①確認テスト結果　50% ②検定結果　20% ③出席率　20% ④授業態度　10%		
使用教科書	①ITパスポート試験対策テキスト ②プリント ③ITパスポート試験　過去問題　4回分		
参考図書			

授業計画表

月	回	単元	学習内容		
1	1	第7章　基礎理論	7-1　基礎理論	7-1-1	離散数学
				7-1-2	応用数学
				7-1-3	情報に関する理論
	2		7-2　アリゴリズムと プログラミング	7-2-1	データ構造
				7-2-2	アリゴリズム
				7-2-3	プログラミング プログラミング言語
			7-3　章末問題	問題練習	
	3	第8章　コンピュータ・システム	8-1 コンピュータ構成要素	8-1-1	プロセッサ
				8-1-2	記憶装置
				8-1-3	入出力デバイス
			8-2　システム構成要素	8-2-1	システムの構成
				8-2-2	システムの評価指標
2	4		8-3　ソフトウェア	8-3-1	OS
				8-3-2	ファイル管理
				8-3-3	開発ツール
				8-3-4	OSS
	5		8-4　ハードウェア	8-4-1　ハードウェア	
			8-5　章末問題	問題練習	
3	6	第9章　技術要素	9-1　ヒューマンインタフェース	9-1-1	ヒューマンインタフェース
				9-1-2	インタフェース設計
	7		9-2　マルチメディア	9-2-1	マルチメディア技術
				9-2-2	マルチメディア応用
4	8		9-3　データベース	9-3-1	データーベース方式
				9-3-2	データーベース設計
				9-3-3	データ操作
				9-3-4	トランザクション処理
	9		9-4　ネットワーク	9-4-1	ネットーワーク方式
				9-4-2	通信プロトコル
				9-4-3	ネットーワーク応用
	10		9-5　セキュリティ	9-5-1	資産情報とセキュリティ
				9-5-2	情報セキュリティ管理
	11			9-5-3	情報セキュリティ対策 情報セキュリティ実装技術
	12		9-6　章末問題	問題練習	
5		総合練習問題	過去問題		

授　業　概　要

クラス：　ITビジネス科2年

科　目　名		授業の種類	授業担当者
色彩		専門・講義及び演習	松本　健
週　数	授業コマ数（週あたり）	授業時間数	学 年 ・ 時 期
10	8～10	90	2年・前期

授業の目的・概要	「色彩に関する基本的な知識を理解する」 ● 色の表示方法 ● 色彩心理 ● 色彩調和		
実務経験			
達成課題・到達目標	文部科学省後援　色彩検定3級　合格		
定期試験	実施の有無	実施概要	
	実施する	色彩検定に準じた試験問題を実施する。	
検定試験	実施日	目標合格率	昨年度合格率
	令和6年6月	100%	88%
評価方法・基準	●定期試験　25% ●検定試験　25% ●出席＆授業態度　25% ●課題提出　25%		

使用教科書	色彩検定公式テキスト3級編
参考図書	2019年～2024年度　色彩検定過去問題集

授業計画表

月	週	単　元	学習内容
4月	1	第1章　色のはたらき	●色はなぜ見えるのか？ ●光とは何だろう？ ●眼のしくみ
	2	第2章　光と色	●照明と色の見え方 ●混色 ●加法混色と減法混色 ●混色を応用した身近な例 ●混色のまとめ
	3	第3章　色の表示	●色の分類と三属性 ●PCCS表色系 ●色名
	4	第4章　色彩心理	●色の心理的効果 ●色の視覚効果 ●色の知覚効果
5月	5	第5章　色彩調和	●配色の基本的な考え方 ●色相から配色を考える
	6	第6章　色彩効果 第7章　色彩と生活	●色彩と構成 ●色彩と生活
	7	第8章　ファッション 第9章　インテリア	●ファッションとは ●インテリアと色彩
	8	単元別の復習	単元別問題の実施
6月	9	検定対策	2019年～2021年度　色彩検定過去問題集
	10	検定対策	2022年～2024年度　色彩検定過去問題集